

企業潜入ルポ

会員さん  
こんにちは

WA!



## 医療法人社団康幸会 かわぐち心臓呼吸器病院

理事長・院長  
たけだ しんひろ  
竹田 晋浩氏

企業|D|I|A|T|I|A

川口市前川1-1-51

TEL: 048-264-5533

FAX: 048-264-5501

診療時間: 月~金 9:00~12:00 / 13:30~17:00

土 9:00~12:00

※24時間救急随時対応

休診日: 日・祝・土(午後)



# 「川口市の救急医療を支える 循環器と呼吸器の急性期病院」

## 救急医療に 特化した最先端設備

同院は、2015年11月に開院した埼玉県南エリア待望の急性期病院である。竹田晋浩院長は、日本の集中治療の研究を最前線でリードしてきた一人。「当院では、24時間365日救急を受け入れています。急患の状態をいち早く診断し、治療法を即座に決定します。心筋梗塞、狭心症、不整脈、大動脈解離など直ちに治療を必要とする病気に対し、すぐに治療ができるよう常時スタンバイ状態にしています」と話す。

治療にあたっては短い動線が考えられ、救急車から扉1枚で初療室に入り込むことが可能で、そこから直接カテーテル室や手術室に患者を搬送することが出来る。

また、専門性の高い技術はもちろんのこと、カテーテル治療と外科手術を同時に行うことができる最先端のハイブリッド手術室などの院内設備を充実させ、重症者に対応できる体制が整っている。治療後のリハビリテーション施設も完備していて、外来から急性期、そしてリハビリまですべての領域を治療出来る施設となっている。



## 最新低侵襲手術と 大動脈センター

最近では、急性大動脈解離や大動脈破裂など、すぐに手術しなければならぬ症例が増えている。40~50歳代の急性大動脈解離の患者も少なくない。初療が大切となるため、同院では24時間対応しているドクターカーを配備しており、医師も一緒に患者のいる所へ駆けつけて、搬送中に診断や治療を進めることが出来る。

患者の負担が少なくなるよう、最新の低侵襲手術を導入しており、術後の早期回復を実現している。大動脈解離は幅広い医学的知識と経験が求められるが、国内有数の治療経験、豊富な手術実績を持つ医師がいるので心強い。同院は、開院2年目で、急性大動脈解離

に対する人工血管置換術の症例数が全国6位となった。埼玉県南エリアにおける「大動脈センター」としての役割が確立しつつある。

## 注目の治療法、 安心のための検診



下肢静脈瘤は、下肢静脈の弁に損傷や病変が生じると、血液の逆流により静脈圧が上昇して、血管に発生する瘤である。同院では、専門外来による高周波アブレーションカテーテルによる最新の治療が可能となっている。「足の血管が目立ってきた」、「足がすぐつる」等、少しでも気になる点があれば、まず外来受診を勧めている。

また、心臓病の早期診断・早期治療を目的とした心臓ドックを行っている。一般の健康診断や人間ドックでは、心臓病の初期段階を詳細に診断することが難しい。検査で異常が疑われる場合は、引き続き同院で専門検査、治療を行うことも出来る。

## 地域の要の病院として 最後の砦として

「心臓、大動脈など胸部に症状のある救急対応は24時間無休で実践しているところが当院の大きな強みです。そして最も大切にしているのは、患者さんとの信頼関係です。高いレベルの医療を提供し、かつ患者本人や家族が望む状態にしてあげてことを「最善」の医療と考え、スタッフ全員が日々全力で取り組んでいます」と竹田院長の思いは熱い。

また、公民館等からの依頼で昨年からは取り組んでいる「いきいき健康講座」は、市民の予防知識向上を図るための地域貢献活動として行っており、同院医師、管理栄養士、理学療法士による講演を月に1~2回開催している。

「地域の方が重症になってもここなら安心して治療を受けられると思ってもらえる病院を目指しています。初療から術後の回復リハビリに至るまで、関わる職員全てがチームとなり、患者さんに尽くし寄り添うことが何より大切なことです」

地域医療への貢献を果たしながら、さらに日本を代表する病院を目指し、日々邁進している。